

いつの間にか、季節はすっかり秋模様になり、過ごしやすい日が続いていますね。気持ちの良い秋晴れの下、子ども達はのびのびと身体を動かすことを楽しんでます。前回の「ぱたぱた通信」でもお知らせしましたが、運動遊びがさらに楽しめると良いと思い、遊びが盛り上がる方法を、子ども達と一緒に考えながら遊びました。今回は、そんな子ども達の工夫が見られた運動遊びを紹介します。

## ゴム跳びコーナー



子どもたちの身近にある素材のペットボトル… 大きさによって高さを調節することが出来たり、水を入れることでおもりになり、倒れないということなどのペットボトルの良さも活用して、ゴム跳び遊びを作ってみました。初めは、ペットボトルに水を入ただけの状態で行っていましたが、ゴム跳び遊びを、さらに楽しくするにはどうしたら良いか考えている時、ペットボトルに色を付けることを思いつき、食紅で色を付けてみました。保育教諭が、色を付けていると、何をしているのかと興味を持って数人の子がやって来ました。そこで、子どもたちと一緒に、色を付けることに。赤と緑の色を混ぜると、紫色に変身！また、2つのペットボトルの色の濃さが違うことに気づき、色を合わせるために、水の量を足したり減らしたり… 作る工程を楽しんでいたことでさらにゴム跳びを楽しんでいるように感じました。



ビーンズバッグを1つではなく、数を増やしてみても面白いのではないかと思います。ビーンズバッグを使う数を書いた、くじ引きを用意してみました。数は子ども達と一緒に「1」から「6」までに決めました。



## バランスコーナー

## ラダーコーナー



ラダーの枠を手前から数え「わたし、3個目のところまで跳ぶわ！」と言い、跳ぶ場所を決めながら、自分の決めた所まで両足跳びを楽しむ姿がありました。そこで、ラダーの枠の右上に手前から順に数字を書いたテープを貼りました。



数字を付けることで、「3番まで跳びます！」と、跳ぶ位置を決め、ジャンプする姿がありました。3番まで跳ぶことが出来ると、「次は、6番まで！」と、自分の中で目標を決めて跳んでいました。また、「ぼく、3まで跳べたよ！〇〇ちゃんは何？」と、友達と一緒に跳ぶことが出来た数を話し、競い合うことも楽しんでいました。



くじ引きを引き、「4やった！4個もどこに乗せよう～」と、のせる場所を考えたり、「〇〇ちゃん何個やった？」と友達と話しながら楽しむ姿がありました。背中が大きくて乗せやすいということに気づき、背中に乗せる子や、両肩・両腕など乗せる場所を分けて乗せている子もいました。肩2個くらいまでは簡単に運べていましたが、5、6個になると、上手くのせることが出来ず、苦戦する姿も見られました。

この日は、心地いい天候だったこともあり、1時間30分ほど園庭で思いきり身体を動かして遊びました。子ども達と一緒に、楽しくなる遊びを考えながら運動遊びをすることで、十分に身体を動かす気持ちよさや友達と一緒に運動する楽しさを味わっていました。

「積み木タワー競争」で使用する、ダンボールのご協力ありがとうございます。次回は、「積み木タワー競争」での、子ども達の様子もお知らせしたいと思います♪